

# R5.10.12 浸水被害住宅の技術対策マニュアル 解説講習会

6月に発生いたしました台風2号の影響による線状降水帯の浸水被害など、近年多発する風水害に対して、防災はもとより発災後の復旧処置の迅速な対応も求められております。

このたび、日本建築士会連合会の災害対策委員会では、建築士を含めた建築技術者が被災住宅等の復旧に取り組む際に、被災地の復旧対策の知見や貴重な体験データを集めた実用的指針としての「浸水被害住宅の技術対策マニュアル」を策定いたしました。

いつ来るやもしれぬ災害に対処するため、この「浸水被害住宅の技術対策マニュアル」のいち早い普及が急務であると考えております。そこでこの「浸水被害住宅の技術対策マニュアル」の解説講習会を開催いたします。ご興味のある方は、ぜひご参加くださいませ。

1.開催地、開催日、会場、定員 ☆ 先着60名。お申し込みは、くれぐれもお早めに♪

開催日(2023年)	会場	開催地	募集人員
10月 12日(木) 13時30分～受付	茨城県市町村会館 201会議室	水戸市笠原町978-26	60名

2.時間割、内容、講師 CPD認定事業:「3単位」

時間割	講習内容	講師等
14:00 ~ 15:00 (60分)	第1章 はじめに (1. マニュアルの考え方と利用方法 2. 応急措置での基本的な注意点) 第2章 被災住宅の応急処置と応急復旧工事 (1. 水害後の復旧までの流れと注意点 2. 水害後の復旧までの作業の詳細 3. 復旧に当たっての注意点と推奨する施工方法 4. 応急修理から本格的な復旧に向けて)	(公社)日本建築士会連合会 災害対策委員会委員 神奈川県 河原 典子先生 Kappa研築工房
休憩	..... 休憩 15分 .....	休憩
15:15 ~ 16:30 (75分) (質疑含む)	第3章 被災住宅の相談窓口業務 (1. 相談内容の経過と分類 2. 台風豪雨災害における相談活動の状況 3. 相談員の心得 4. 相談事例集 5. 相談票の書式例と参考資料) 第4章 被災住宅の応急復旧体制の提案 (1. 応急復旧体制の概要 2. 応急復旧協会の役割 3. 応急復旧活動のフローと内容 4. 応急復旧協会の参考資料 5. 応急復旧工事の概算費用 6. 復旧工事概算費用算出シート) 質疑応答	(公社)日本建築士会連合会 災害対策委員会委員 神奈川県 河原 典子先生 Kappa研築工房

3.受講料 (受講料、資料代は、下記口座へ 9月 29日(金)までに納入願います。入金後の返金は致しません)

士会員 5,000円 一般 8,000円

※ 消費税、テキスト代含む (使用テキスト「浸水被害住宅の技術対策マニュアル」 1,100円前後(税込み))

振込先 郵便局 00120-8-59384 口座名: 一般社団法人茨城県建築士会  
銀行から振込む場合 ゆうちょ銀行 〇一九店 当座 59384

4.お申し込み方法 ... 令和5年 9月 29日(金曜日)までに、お申し込みください。...但し、定員になり次第、締め切ります。

- ① 茨城県建築士会宛てに、下記の申込書をFAXするか、または、Eメール、ご郵送等によりお申し込みください。
- ② 受講料の入金確認後、講習日の一週間位前に、受講券を FAX します(先着順です。定員になり次第、締め切ります)

5.主催及びお申込み・お問い合わせ先

主 催 : (一社)茨城県建築士会 〒310-0852 水戸市笠原町978-30建築会館 2F

電話 : 029-305-0329

茨城県建築士会 行き ... FAX 029-305-0330

## R5.10.12 浸水被害住宅の技術対策マニュアル 解説講習会

申込書

※ 受付No. \_\_\_\_\_ 番

会員証番号						※ 事務局 受付欄	
支部名		氏名		性別		男 ・ 女	
電話		-	-	FAX		-	-
会社名							
受講料	<input type="checkbox"/> 士会員 5,000円 ・ <input type="checkbox"/> 一般 8,000円			緊急時携帯電話	0	0	-
受講料納入日	( 月 日 振込み ) 予定			備考			
FAXが、無い場合	〒 □□□-□□□□ ご住所						